



感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和7(2025)年 第39週 (9/22 ~ 9/28)

三宅島 新型コロナウイルス感染症(COVID-19): 1件

御蔵島 感染症の報告はありません

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)

東京都の注目される定点把握対象疾患 < 東京都感染症週報 第38週 >

・インフルエンザの定点当たり報告数は1.00で、前週(0.67)よりも増加しています。

島しょの情報 (11島の医療機関からの報告) < 第39週 (9/22 ~ 9/28) >

・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、0.55で前週(0.73)より減少しています。

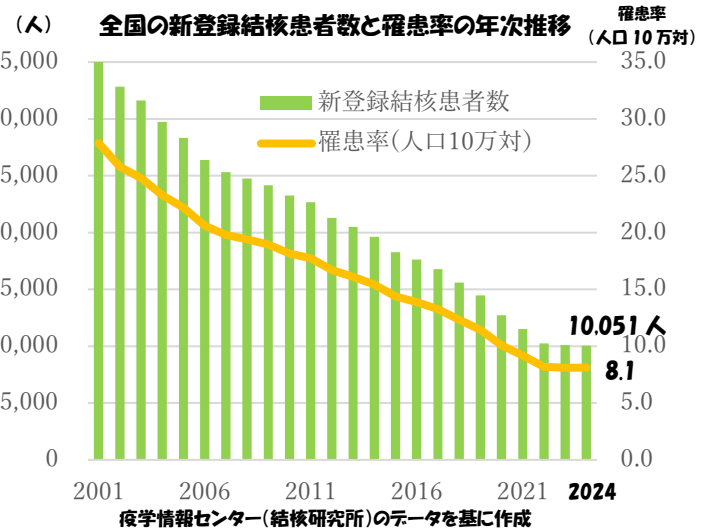
NEWS 9月24日~9月30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。

かつて結核は、日本で「国民病」と呼ばれていました。しかし、国民の生活水準の向上、医学・医療の進歩、結核対策の推進等により、患者数は年々減少しています。

国は2016年11月に「結核に関する特定感染症予防指針」を改正し、2020年までに低まん延国化(人口10万人あたりの罹患率10以下)を目標に、無症状病原体保有者のうち治療を要する者(潜在性結核感染症)の確実な治療、病原体サーベイランスの推進など、総合的な対策が進められてきました。

その結果、2021年に罹患率10を下回り、2024年は、全国新登録結核患者数が10,051人、罹患率は8.2となり、低まん延国の水準を維持しています。ただし、ここ数年は減少傾向に鈍化がみられています。

欧米先進国(2023年罹患率 米国3.1、デンマーク3.6、ドイツ4.8)と比べると、日本の罹患率は依然として高い水準にあります。現在も日本では、毎年約1万人が結核を発症し、約1,500人が命を落とす呼吸器感染症であることに変わりはありません。



都道府県別の結核罹患率(人口10万対)について、罹患率が高い順に、大阪府(12.8)、徳島県、大分県、岐阜県、和歌山県となっています。一方、低い順は、山形県(4.1)、長野県、山梨県、新潟県、北海道です。大阪府の罹患率(12.8)は山形県(4.1)の約3.1倍で地域によって差がみられます。東京都の罹患率は(8.4)でした。

参考: 結核(東京都健康安全研究センター) 2024年結核登録者情報調査集計(厚生労働省)



2024年結核登録者情報調査年報集計結果について(厚生労働省)



(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009



<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>

島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和7(2025)年

第 39 週

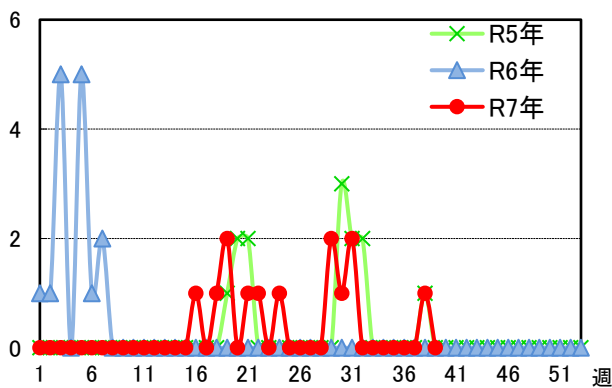
令和7年 9/22 ~ 9/28

疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和7(2025)年						令和7 (2025)年 累計	東京都 定点あたり 38 週
	34 週	35 週	36 週	37 週	38 週	39 週		
RSウイルス感染症							0 (0)	1.27
咽頭結膜熱							0 (0)	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							0 (0)	1.34
感染性胃腸炎					1 (0)		13 (3)	4.44
水 痘							0 (0)	0.24
手足口病					1 (0)		1 (0)	0.49
伝染性紅斑							0 (0)	0.24
突発性発しん							0 (0)	0.32
ヘルパンギーナ							1 (0)	1.00
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.05
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.02
不明発しん症							0 (0)	0.13
インフルエンザ							58 (3)	1.00
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	2 (1)	9 (8)		3 (1)		1 (0)	67 (28)	4.06

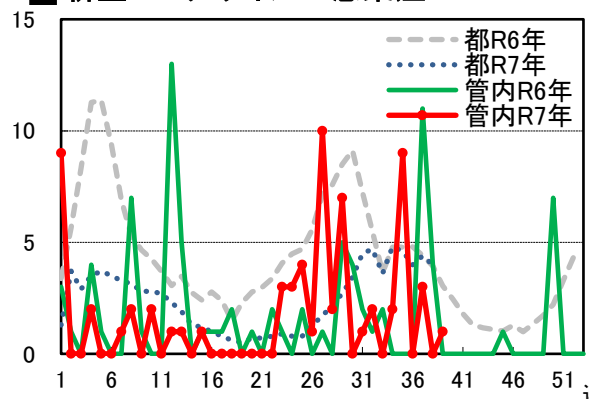
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ 管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ 感染性胃腸炎



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

三宅管内では、新型コロナウイルス感染症の発生が報告されています。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。